

高齢化社会の問題をどう取り上げるか



静岡大学教授 馬居政幸

一 起こりうることへの想像力の育成を
日本が超高齢社会になることはよく知られています。しかし、その課題を具体的にイメージできるでしょうか。たとえば国立社会保障・人口問題研究所による二〇五〇年、高齢化率三六％、国民の二・八人に一人が六十五歳以上という推計値。高齢者を支える人の給とともに、社会保障費の負担に関する社会科の授業で用いることが多いと思います。しかし、子どもたちは自分の課題として考えるでしょうか。むしろ、保険や税への負担感が世代間の不公平感につながり、年金未納者の予備軍育成という皮肉な結果に結びついていないでしょうか。

高齢化の問題の学習の困難さは、負担を教えなければならぬことです。加えて、多くの子どもたちの日常経験の外にあることも、理解を妨げます。生活実感をとま

わずに負担だけ強調されれば、負担を避けたいと思うのが自然でしょう。
しかし、残念ながら高齢化率の上昇は避けることのできない現実です。それも推計を上回る速度で進行中です。道は一つしかありません。負担の理由と具体的な課題の学習の場を、子どもの日常生活実感の延長線上に創り出すことです。その手がかりとなるもう一つの推計データを紹介します。

都道府県別高齢世帯総数の推移

	高齢世帯総数		増加率 (%)
	2000年	2025年	
埼玉	450	1052	133.7
千葉	413	902	118.6
愛知	509	988	94.3
神奈川	642	1243	93.8
東京	1143	1971	72.4
大阪	746	1250	67.6
秋田	128	164	27.9
山形	122	149	22.3

「都道府県別高齢世帯総数の推移」(日本世帯数の将来推計) 平成十七年八月推計国

立社会保障・人口問題研究所からとりました。左の列から順に数字をみると、二〇〇〇年の高齢世帯総数(千世帯)、二〇二五年の推計、増加率(%)です。世帯は家庭とみなせるので、埼玉県は二十五年間で高齢者のいる家庭が一三三・七％に増加し、二〇〇〇年の約二・三倍になります。千葉、愛知、神奈川は二倍前後。東京、大阪は実数の巨大さに注目して下さい。他方、秋田と山形は増加率、実数ともに僅かです。両県は現在最も高齢化率が高く三〇％を超える市もあります。日本全体の高齢化率では想像できない現実が見えるでしょう。大都市圏ほど厳しいわけです。さらに問題は世帯の中です。この推計には高齢者の単独世帯と夫婦のみ世帯の増加率(〇〇年→二五年)や一般世帯に占める割合も含まれています。最も増加率が高い埼玉県のデータを紹介します。

高齢者の増加率と一般世帯に占める割合 (埼玉県)

	増加率 (%)	一般世帯に占める割合	
		2000年	2025年
単独	263.4	3.9	12.2
夫婦のみ	126.3	6.3	12.2

左の列から順に数字をみると、増加率、二〇〇〇年の一般世帯に占める割合、二〇二五年の同推計です。埼玉県は高齢者の単独世帯の増加率が二六三・四％、約三・六倍に、同じく夫婦のみ世帯が約二・三倍、ともに

地縁関係が密な地方の市町村の先行経験を活かすことは困難でしょう。四軒に一軒いる一人か二人で生活する高齢の男女を支えるのは誰でしょうか。血縁や地縁にかかわらず、誰もが参加可能な支えあいの仕組みを新たに創るしかありません。

人里離れた地でなく都市の居住空間に高齢者のための施設、支援センター、NPO法人などが必要です。そしてその仕事や活動を担うのが二十五年後に三十代になる現在の子どもたちです。そのための準備は職業生活習慣、人間関係など日常の全ての領域に及びます。税や保険の負担ですむほど甘くはないのです。ただし、それは自己実現の新たな扉を開くことでもあります。その学習方法を私の経験を基に述べます。

二 新しい自分に出会う感動を

〇四年冬、秋田や山形の高齢者を支える人たちを調査する機会がありました。その過程で超高齢社会に必要な資質能力が「心」「技術」「知識」「仲間」「元氣」であることに学びました。これはそのまま総合に託された課題と考えます。活動や体験を通して、仲間と元氣に技術や知識を学び、未来を生きるところを培うわけですから、問題

はその活動内容、体験の場、順序です。まずデータから未来を知る活動です。インターネットの活用が鍵です。国立社会保障・人口問題研究所のHPとそこから入れる少子化情報HPの少子化統計情報にある「将来推計人口」データベース、小地域簡易将来人口推計システム¹⁾が便利です。全ての市町村の二〇五〇年までの人口ピラミッドや高齢化率の推計を五年ごとに図示でき、小学校高学年なら操作可能です。²⁾

次は身近な施設の訪問です。福祉や生涯学習の場で地域に即した未来への準備が始まっています。元氣に学び運動する人たちがヘルパー研修の場から、先の五つの資質能力の必要性を実感できるでしょう。

最後は介護の現場です。ただし準備が必要ですが、まず教室で若い介護士の話を聞いてください。介護の世界が自分の可能性を開く感動を語ってくれるでしょう。その介護士からマナーと技術も学んでください。介護の現場に参加する条件だからです。そしてより重要な条件は、三つの活動を教師が事前に体験し、負担を新たな自己表現の楽しさに転換するモデルになることです。

1) 四居政幸「不安の現在を希望の未来に―少子高齢社会を拓く鍵―世界と国会」『福知行』第10号(二〇〇四年四月号)
2) 国立社会保障・人口問題研究所HPアドレス
http://cchi.jp/cchi/ssi/ssi.html



提供された機材の開封と確認風景。



KWN (キッド・ウィットネス・ニュース) プロジェクトの、児童のVTR撮影風景。



薬物に関わる人を訪ね、名古屋ダルクを訪問し、インタビューを行った。薬物依存症と戦い続けるダルク代表の赤裸々な告白に息を呑む。



麻薬取締官を招いて「薬物乱用今後50年を大予想」「このような学習をする子どもたちが増えていけば、必ず0になります」。熱い思いが伝わった。

Don't do DRUGS!
 (幸田町立南都中学校 土田修哉)

特集

総合的学習を創る 1月号 NO. 187
新しい学力をつくる総合の改革点
 —指導要領改定で総合はどう変わるか—

総合の現状と私の改革プラン 9

教育プロジェクトを利用した総合的な学習を... 上田嘉彦
 総合学習を通して子どもの何を培うのか... 嘉納英明
 打ち上げ花火で終わらせないために中との連携を... 楠本 誠
 現代的な諸課題に向き合う資質・能力を育てる... 久野弘幸
 教科等の学習成果の意識化と例示の見直し... 滋澤文隆

これからの社会に必要な資質能力と総合の改革

- キャリア教育をどう取り上げるか... 鳥居徹也
- 食育の問題をどう取り上げるか... 北 俊夫
- シブシブシップをどう取り上げるか... 大久保正弘
- 金融問題をどう取り上げるか... 猪瀬武則
- 高齢化社会の問題をどう取り上げるか... 馬居政幸

「新しい学力」をつくる総合の改革点

- 新しい学力・年間指導計画・評価の在り方と改革への提言... 齋藤正章
- ねらいと改革への提言... 藤井千春
- 横断的・総合的課題と改革への提言... 濱松章洋
- 興味・関心に基づく課題と改革への提言... 秋山 誠
- 体験的な活動の充実と改革への提言... 平賀正幸
- ボランティアなどの社会体験と改革への提言... 岡田健治
- グループ・異年齢集団と改革への提言... 藤澤國治
- 自ら課題を見つけと改革への提言... 藤永福子
- 問題解決の資質・能力と改革への提言... 鈴木康一
- 学び方ものの見方・考え方と改革への提言... 大野 謙
- 小学校英語活動の現状と私の改革&充実プラン... 前田康裕
- PPP型学習からタスク学習へ... 堤 信之
- やるなら今しかない!... 西岡美香
- パターンを決めれば担任だけでも授業は簡単!... 今井 京
- 「コミュニケーション能力」って、前もって決められたことが言えること? ... 山極 隆

総合的学習による学校体制の改革

- 学校全体の取り組み改革点は... 小幡 肇
- 打ち合わせ時間改革点は... 古川 治
- 総合らしい教材開発改革点は... 松本博幸
- 地域との連携改革点は... 丸亀貴彦
- 教科とは違う活動改革点は... 垣内秀明
- 評価をどうするか改革点は... 山極 隆

連載

- 学校でつくる総合のカリキュラム 9 田中博之
- マルチメディアプロジェクトで子どもの21世紀型学力を育てる... 今村信哉/安野 功
- 往復書簡II疑問と討論総合はどこへ? 安野がお答えします! 10
- 総合と特活は、独立独立歩でいいの? ... 高階玲治
- ねらいにあった総合の評価スキル 10
- 課題追究の仕方をも身につける... 村井淳志
- 「生命と死」の授業をつくる 10
- 金森俊朗・いのちの教育実践のあゆみ... 伊原浩昭
- 読み聞かせ 環境を守るのは誰だ? 10
- 日本人の身近な生活を見直す「ゴミの分別はビック・ジョブ?」... 小林幸雄
- 読み聞かせ 福祉の仕事って何だ? 10
- 盲導犬ロボット... 藤本勇二
- 総合でする「食の授業」—栄養士との共同提案 9
- 思い出の給食を再現しよう...

表紙イラスト(イタリア・ヴェネツィア) / 立松 脩

2007
NO.601

“経営と管理”を
インターフェイスする

学校 マネジメント

4月号

「いじめ」発見・対応の

特集

学校システム構築

1 「いじめ」に関する最近の傾向
山脇由貴子/勝方信一/上木信弘/甲本卓司
吉原尚寛/浅川 清

2 「いじめ」発見・対応のシステム構築
=ポイントはどこか
向山洋一/井上好文

3 いじめ—なぜ生徒は教師に相談しないのか
—「いじめ調査」を通して
浮かび上がった学校対応の問題
馬居政幸/藤原和博

4 いじめに正対する教育・どんな方法があるのか
松尾直博/神谷和宏/青坂信司

5 <管理職がする教師力のチェックポイント>
星野祐二/小林義典/田村治男

6 いじめに歯止めをかけられる教師の教育力
小嶋瑞紀/神谷祐子/松岡宏之

連載

中村 哲 / 明石要一 / 福井秀夫 / 菱村幸彦
小森 茂 / 藤平 敦 / 伊原正俊 / 成山治彦
二瓶弘行 / 田中健次

明治図書

日本音楽と日本文化

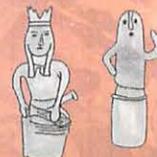
連載 第1回
田中健次

茨城大学教育学部

日本の芸能・音楽の原点 天鈿女命



▲天岩戸前で歌舞する天鈿女命とそれを嘲す八百萬の神々。岩戸真ん前に描かれているが由緒書では四百米後方である。 戸隠神社(長野県)蔵



▲琴を弾く埴輪 ▲踊る埴輪
馬子埴輪 かつては踊る埴輪と考えられていた。このほかに四つ竹(カステネットの一種)を持って踊っている女性埴輪が出土している。

▲国府岡(千葉県)出土の古代琴とされる木片



▲天岩戸神社(宮崎県)西本宮の入口。この奥に岩戸天の拝殿がある。



▲神々が集った天安河原への道々は昼なお暗く曇蒼とした溪谷を進む。



▲天岩戸神社の拝殿で頂戴した由緒書には「天岩戸」と記載。神楽を舞う「おかめ」面は天鈿女命がモチーフという。

定価 830円 本体790円

発行所=明治図書出版株式会社 東京都豊島区南大塚2-39-5
http://www.meiji-toshu.co.jp 郵便番号170-0005 電話番号0160-5-151318

*裏面に解説があります。

